千葉大学医学部附属病院 NST
栄養サポートチーム専門療法士　臨床実地修練カリキュラム

カリキュラムにおける達成目標、実施指針

No	担当	科目	時間(H)	達成目標	実施内容
1	医師	オリエンテーション	0.5	研修のスケジュール、研修中の注意点を理解できる。	研修出席票やスケジュール表を用いて指導医、事務局から説明を行う。
2		症例報告レポート作成①	1.0	研修中に作成する症例報告書の書き方、注意点、プレゼンテーション方法について理解できる	日本静脈経腸栄養学会所定の様式を用いて指導医から説明を行う。
3		症例報告レポート作成②	1.0	プレゼンテーションの予行練習を行い報告書の修正ができる。	プレゼンテーションの予行練習を指導医が確認して修正を行う。
4		手術見学	1.5	どのように手術が行われているかを理解する。	手術室で実際の手術を見学する。
5		レクチャー①	1.0	輸液と栄養管理の必要性について理解する。	輸液と栄養管理の必要性についての講義
6		レクチャー②	1.0	嚥下と呼吸のしくみについて理解する。	嚥下と呼吸のしくみについての講義
7		レクチャー③	1.0	重症患者における栄養管理について理解する。	重症患者における栄養管理についての講義、ICU での栄養管理の見学
8		レクチャー④	1.0	血糖管理と栄養管理の関連性について理解する。	血糖管理と栄養管理の関連性についての講義
		レクチャー⑤	1.0	歯科・口腔領域と食事・栄養管理の関連性について理解する。	歯科・口腔領域と食事・栄養管理の関連性についての講義
9		臨床機能検査(特に BIA、間接熱量計)の見学	1.0	電気インピーダンス法(BIA)、呼気ガス分析による栄養評価項目や対象についてできる。	BIA や間接熱量計の模擬測定や講義を行う。
10	薬剤師	TPN 無菌調整の見学	3.0	TPN の組成を理解できる。 TPN の無菌調製の見学を通じ、無菌作業について理解できる。	導入講義(座学):TPN について TPN 作成の準備の見学 TPN 作成の見学
11		講義	1.0	医薬品扱いの経腸栄養剤の特徴を理解できる。	経腸栄養剤(医薬品扱い)の組成を生化学的に理解することに加 え、試飲を行ない体感的にも経腸栄養剤を理解する
12		講義	1.0	静脈栄養の特徴を理解できる	静脈栄養剤の組成と特徴についての講義
13	看護師	SGA	1.0	当院におけるSGA 評価について理解できる。	SGA 評価についての講義、SGA 入力の見学
14		ED(PEG 管理)の見学	1.0	PEG の管理方法、注意点について理解できる。	PEG からの経管栄養投与の見学在宅管理に向けての指導について説明(対象患者のいる部署での見学)
15		ポンプチューブ管理	1.0	経腸栄養ポンプの管理について理解できる。経腸栄養ポンプを使用する患者について理解できる。	経腸栄養ポンプを使用しての経管栄養投与の見学 小児と成人の経管栄養について説明(病棟での見学)

千葉大学医学部附属病院 NST
栄養サポートチーム専門療法士　臨床実地修練カリキュラム

カリキュラムにおける達成目標、実施指針

No	担当	科目	時間(H)	達成目標	実施内容
16		一般病棟 看護見学	1.0	病棟における看護師と病棟担当管理栄養士との連携について理解できる。 病棟における看護師の栄養管理に関する患者支援について理解できる	栄養カンファレンスの参加 NST リンクナースの役割について説明 (NST 介入患者のいる部署での見学)
17	管理栄養士	オリエンテーション	1.0	研修に関する院内の施設設備について理解できる。	院内の施設設備について管理栄養士が案内を行う。
18		ODA、報告書の作成	2.0 2.0	ODA の評価項目を把握し、SGA との違いやODA の役割が理解できる。 症例報告書への記載ができる。	ODA の評価項目や各指標の役割を講義形式で説明する。 症例報告書への記載方法を指導する。
19		栄養相談の見学	2.0	病態と食事療法を結びつけられ、具体的な食事療法の内容が理解できる	栄養相談の事前調査や実際の栄養相談の見学と講義をする
20		栄養剤について	1.0	医薬品と食品の経腸栄養剤の違いや各種栄養剤の特徴について理解できる	当院採用の経腸栄養剤を中心に説明を行う。
21		病棟の栄養管理 症例検討会の見学	2.0	入院患者への栄養評価とプランの作成、モニタリングの一連の流れが理解できる。	電子カルテによる事前調査や病棟訪問を行い栄養管理業務の一連の流れを見学する
22	臨床検査技師	栄養に関連する臨床検査項目について、検査部見学	2.0	栄養管理に利用される臨床検査項目の測定意義について理解できる	栄養に関連する臨床検査値について講義する。 検体採取から結果報告までの流れを見学する。
23	ST	嚥下評価、食事介助	1.0	嚥下障害の評価方法を学ぶ。嚥下障害の障害機序と問題点を整理できる。安全な経口摂取を促す「食形態」「姿勢」「食べ方」の選択が理解できる。	評価方法についてレクチャー、実際の評価/機能訓練について講義する。
24	PT/OT	機能訓練	1.0	PT:サルコペニアに対する運動療法について理解できる。 OT:摂食機能障害に対するリハビリテーションの関わり方について理解できる。	PT:サルコペニアの運動療法について講義する。 OT:摂食機能障害に対する評価/ 機能訓練の方法を講義形式で学ぶ。また、自助具の使用方法について説明する。
25	全体	ミーティングへの参加	0.5 0.5 0.5 0.5	NST 支援患者について多職種間で情報共有しチームで方針を決定していることが理解できる。	NST 回診前のミーティングに参加する
26		勉強会1への参加	1.0	外部講師からの最新の知識や取り組みなどを習得する	外部講師による講義に参加する
27		勉強会2への参加	1.0	メーカーからの最新知識を習得する。	メーカーによる勉強会に参加する
28		NST 回診への参加	1.0 1.0	NST 回診方法の流れと病棟との連携について理解する	NST チームの回診に同行する

千葉大学医学部附属病院 NST
栄養サポートチーム専門療法士　臨床実地修練カリキュラム

カリキュラムにおける達成目標、実施指針

No	担当	科目	時間（H）	達成目標	実施内容
29		プレゼンテーションの実施	1.0	対象患者への栄養管理に学会指定の書式に基づいて症例報告ができる。	研修期間中の対象患者の栄養管理について、学会指定の報告書を用いて症例報告を行う
合計			40	時間	

2024年11月11日　更新